

# Rainbow

～六中ユニバーサルデザイン～

All for 六中 ※このお便りは全校向けお便りです。



令和8年4月16日

調布市立第六中学校

校内通級教室

No.1

新年度が始まり、半月が経ちました。

校内通級教室では、今年度も学校全体のインクルーシブ教育の構築に向けて取り組み、このRainbowで様々な情報をお伝えしていきます。第一号は昨年度、実施された主な取り組みなどを簡単にご紹介します。

## 整列時

朝礼等で整列する際に、男女別・背の順で並ぶことはやめました。(体育の授業等で必要がある時以外)どの生徒にもわかりやすくするためと、性別や見た目て人を線引きしなくてすむように、出席番号での整列を基本とします。

## 体育大会において

一昨年度まで「クラスリレー」「大縄跳び」は全員参加となっていました。昨年度からは参加の形を変更し、「クラスリレー」「大縄跳び」「玉入れ」の中から選手として参加するか、応援者として参加するかを選ぶことができるという形で開催しています。

## 定期考査において

試験問題のレイアウトを統一、A4冊子型、表紙あり、大問表記、ページ番号の表記等を都立入試に合わせています。問題用紙では、フォント【MS明朝】を推奨しています。

さらに『国語以外の教科は解答に漢字指定をしない(ひらがなでOK)。』こととしています。

## デージー教科書の推進

日本障害者リハビリテーション協会が提供しているweb上のデジタル教科書で、教科書の内容を音声で読み上げる機能や、漢字にルビをふる機能、文字サイズ、文字色、背景色の変更など、読むことが苦手な生徒や、日本語に不慣れな生徒にとって役立つ機能が充実しています。家庭学習での使用が基本ですが、ご相談いただければ学校での使用も可能です。

## 課題(宿題)の見直し

以前は定期試験や長期休みの際に、各教科からワークやプリントなどの提出物が課され、それを期限までに提出し評価するという形式が取られていましたが、生徒の負担がとても大きいことがわかりました。また、それぞれ違った環境で取り組んできた課題を同等に評価することに対しての公平性を見直しました。そのため「評価に入る宿題」をやめ、「やっておくとよいページ」という風に提示しています。

## 教室環境整備

教室右前にホワイトボードを設置し、「本時のねらい」「本時の見通し」を提示することで、今授業で何をしているのか生徒が理解しやすいようにしました。

又、掲示物をゾーニング(種類別に分ける)して掲示し、目的の掲示物がどこにあるか分かりやすくしました。

以上、昨年度のRainbowより抜粋いたしました。詳しい内容は、第六中学校ホームページにある過去のRainbowをご確認ください。

## 生徒の様子をお伝えください

特別支援において、「生徒の見立て」はとても重要なものとなります。生徒の課題がどのような理由から起こっているのかを推測して対応や対策を考える、いわば予防的な支援を行うのに必要なものです。その際に我々支援者がよく陥ってしまうのが、ある場面だけを切り取って断定的に早まって見立ててしまうことです。生徒の課題は「環境」に左右されることが、非常に多いのです。

例をあげてみましょう。教師がいくら話しかけても、満足な答えが返せない生徒がいたとします。その生徒は声を出すことはできて、普段、友達とはしゃべっています。しかし、担任が話しかけても目を伏せて、ろくに返事をしないのです。そうすると担任の先生は「この子は大人と話すコミュニケーションスキルが未発達な生徒で、目上と話すのに慣れるための練習が必要」などに見立てるかもしれません。しかし、それを真実と断定するには、もっと様々な環境での行動を知ってからでも遅くはない、ということです。

担任との人間関係が構築できておらず、警戒心が人一倍強いから話せないのかもしれないですし、先生は叱るもので、関わりと面倒だから黙っているということもあり得ます。つまり、ある一場面から見立てたものは単なる仮説にすぎず、それを本当の見立て(=指導、支援に有効なもの)にするためには、様々な環境下での本人の姿を知る必要があるのです。

そのためには保護者、関わる全ての先生方、その他多くの人々から普段の本人の様子を共有することが重要になってきます。保護者の皆様から話を聞くと、それまで自分が見立てた気になっていたものは、単なる側面でしかないことを思い知ることがあります。

先ほどの例に当てはめれば、他の大人とは何の問題もなく話をしているのならば、「信頼関係や安心感がないと話しにくいだけで、この子に今、必要なのは練習ではなく、認める言葉をかけてあげて信頼関係を作ることなのだ。」と思いつくことができます。

新年度になりました。学校も新しい体制になっています。家庭での様子を学校側に、ご遠慮なくお伝えください。  
＜文責 □□＞

お子様のことでご心配なことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

校内通級教室主任（特別支援教育コーディネーター）□□ □□

校内通級教室教員 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□  
□□ □□ □□ □□ □□ □□

特別支援コーディネーター： 1学年 □□ □□ 2学年 □□ □□ 3学年 □□ □□

